

# イコラム

シニアアンサンブルのための楽器知識

## 〔11〕エレキギター(EG)

### ◎ギターの略歴

以前、このコラムの欄でエレキギターは20世紀文明が造り出した代表的な楽器であると述べましたが、最初にギターの歴史をふり返ります。

ギターの直接の先祖は12～13世紀に出現した小型の中世風のギターです。16世紀には弦の数も4本、17～18世紀には5本となり1800年前後に現在の6本の弦が定着しました。古くから南欧で好まれて、民間の歌や踊り(フラメンコ)の伴奏に使われ、またクラシックではボッケリーニやパガニーニ、タルレガらによって名曲が作られています。ギター属にはシタール、ウクレレ、バラライカ、月琴、三味線などがあり、これらの由来にはスペインの宣教師や貿易商ら関わったものと考えられます。

日本では戦前は流行歌などの伴奏用としてスチール弦によるクラシックギターが中心でしたが、昭和28年頃のフランス映画「禁じられた遊び」はナルシソイエペス演奏の1本のギターのみによる映画音楽の完遂が世界に感動と驚きを与え、ナイロン弦の開発と共にガット弦による高級なクラシックギターが普及されるようになりました。新堀ギター教室も一時ブームになりました。

### ◎エレクトリックギターの出現

ギターは一般大衆の歌の伴奏用に普及しましたが、放送や演奏会用には音量がやゝ足りないため、これを拡声するためエレクトリックギターが開発され特にハワイアンやウェスタンでも使用されました。ハワイアンスチールギターも開発されました。バッキー白片、大橋節夫、和田弘などが思いだされます。

また、ウェスタンではプレスリーなどですが、彼らは後にロカビリーに変化してゆきます。音域などはクラシックギターと同じですが演奏には殆どピックを使用する点が、大きく異なります。



エレクトリックギター

### ◎エレクトリックソリッドギターの出現

前述のエレクトリックギターは基本的に従来のギターにマイクとアンプをつけたものでしたが、1960年代に入りギターの胴体の中空がない、板だけの新型ギターが出現します。これを使用した“ザ、ベンチャーズ”というグループは歌のないギターのアンサンブルを演奏し、その切れのよさと早い演奏に世界の若者を熱狂させ、日本でも「エレキブーム」として大騒ぎになりました。但し、このブームは意外に早く下火になります。若者がエレキギターの「カッコよさ」にとりつかれてバンドを組んで調弦をおろそかにして音量を上げたので町中が騒音になりエレキ大会への貸与を中止するホールが続出したためです。

最近、その頃の若者が定年となり、「おじさんバンド」として復活し、ザ、ベンチャーズも度々来日しています。

エレキブームの後、ビートルズ旋風が世界を騒がせましたが、この楽団のエレキギターはセミアコースティックと云って、従来のエレクトリックギターとソリッドギターの中間のものです。しかしその他のロックグループは殆どパンチのあるソリッドを使用しています。

### ◎SEとしてエレクトリックギター

「エレキブーム」がもたらした産物としてエレキベースがあります。ギター弦の巻線を太くし、4弦でコントラバスと同じ音域で演奏でき非常に便利です。これを使用する場合、大きい出力のアンプを使用するようにお奨めします。但し運搬が厄介ですからその点をご勘案下さい。

一般のエレキギターの特徴は「テケテケ」でご存知の通り早いパッセージを非常にクリアに演奏できます。少し音質が堅いので、ロックのように激しく演奏する以外は音量をコントロールするとよいでしょう。

(全シ連 岡村記)



エレキベース